

# 秩父羊山公園周辺における芝桜開花時を中心とした渋滞対策プログラムの概要 (平成16年1月～平成17年12月)

## 背景

平成15年の秩父羊山公園における芝桜開花期間中には、4月中旬から約1ヵ月間に63万人の観光客が訪れ、特に、芝桜まつり(4/19)には来園者は7万人に及んだ。来園者(4/19～5/5期間中)の約40%にあたる16万人がマイカー利用のため、広域幹線道路(国道140号、299号)及び市街地内道路は大渋滞を引き起こし、地域住民の足にも多大な影響をもたらした。2004年度には植栽面積を8600㎡から15000㎡に拡大し、来園者も100万人を見込んでおり、また、日本観光協会03年度「フラワーツーリズム賞」受賞により、更に集客が見込まれる。

## 渋滞対策プログラム実施の必要性と目的

来園者への快適・安全な交通手段を提供(渋滞のイライラ緩和)  
 渋滞緩和により、地域住民の移動確保  
 排ガス、騒音による環境汚染の緩和  
 来園者への秩父観光振興

申請者 秩父市

### 主な実験内容

#### 鉄道利用促進

・鉄道利用を最優先に広報し、鉄道駅から羊山公園への鉄道利用者の移動手段を確保し、ルート上において立て看板や誘導員による植栽地への案内・誘導を行う。

・鉄道輸送力の増強(列車の増発・車両の増結)

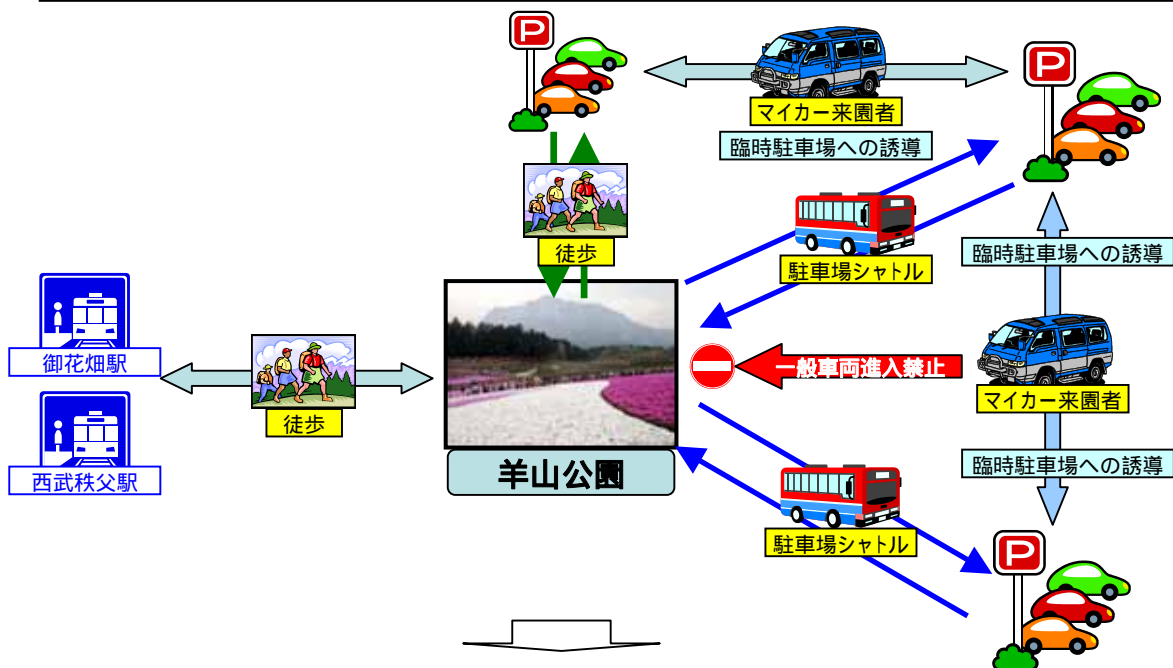
羊山公園及びアクセス道路のマイカー規制実施(ピーク時)

・ピーク時の一般車両の進入/通行規制

パークアンドライドの実施(マイカー利用者への対応)

・市街地へのマイカー流入を抑制するため、国道140号、299号沿線に臨時駐車場を確保し、路上において駐車場への案内・誘導(立看板等による駐車場への案内や駐車場入口での誘導員の配置等)を行い、駐車場からのシャトルバスを無料で運行

地域観光振興策として、周辺観光マップや観光入場施設の割引パス、マップの作成・配布を行う。



### 実験の途中結果

平成17年の芝桜開花時における来園者は約87万人(実験前対比38%増)であり、10日間の実証実験期間において約2万8千台のマイカーが駐車場を利用。

(実験継続中)